

2008年 審判マニュアル

# 4人制クロックワイズメカニクス



## 東総地区少年野球連盟



東総地区少年野球連盟審判部監修

## ◇ 最初に。

### 1. 審判員として。

- ◎ 試合中は、審判員に徹する事。…… 選手を指導する言動は厳禁。(プレイに公平であること)
- ◎ 二日酔いや、体調が悪い時には担当しないこと。(正常なジャッジは出来ない。)
- ◎ 試合中は疲れていても爽やかな姿勢をしなさい(周囲は審判員を見ている)。
- ◎ 常にきびきびとした行動をとること。
- ◎ 常に「野球規則」を学習すること。(野球の本質：フェアであるべき野球を考えること。)
- ◎ プロ野球の真似はしない。アマチュア野球の基本に忠実に。
- ◎ 試合(人のプレイ)を裁くのだから、自分がきちんと自覚と責任を持たなければ。
- ◎ ベンチ等からクレームが出る原因は？(ジャッジのタイミング、ジャッジまでの姿勢、ポジション…他)

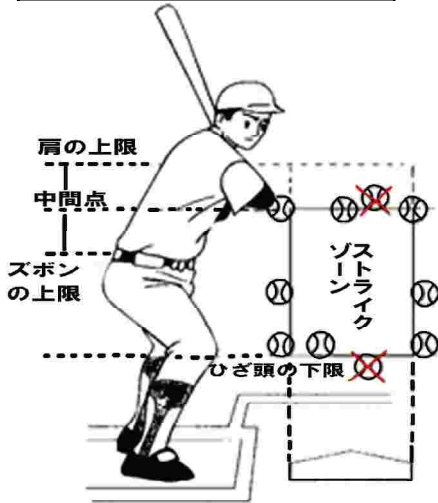
### 2. 判定(ジャッジ)

- ◎ アウト、セーフのジャッジは、ベストのポジションで、事実を確認して、慌てずに、急がずに。
- ◎ 自分では格好良いジャッジと思っている、はたから見ると、みっともないもの。
- ◎ 予測やタイミングでのジャッジは厳禁!
- ◎ ジャッジの後も、常にボールから目を離さない。(ボールの有る所にプレイが有る。)
- ◎ プレイは続く。次々と起こるプレイを予測する意識と行動を!
- ◎ タッチアップ! しっかりとしたポジションでのジャッジでなければ信用されない。

- ◇ 本資料の「4人制審判員の動き方等」は、「審判メカニクスハンドブック第2版」(2006.全日本野球会議審判技術委員会)を参考に作成されました  
柏市少年野球連盟審判講習資料を参考に編集しています。

編集 東総地区少年野球連盟審判部

## ◇ ストライクゾーン



### 【野球規則】

#### ◇〈2・7・3〉

- ・打者の肩の上部とユニホームのスボンの上部との中間点に引いた水平のラインを**上限**とし、膝頭の下部のラインを**下限**とする本塁上の空間をいう。

(注1) 打者が投球を打つための姿勢で決定される。

(注2) 下限に関してだけ、**ボールの全部**が膝頭の下部のラインより上方を通過したものとする。(アマチュア内規)

(参考) 高野連では、上限も同様としている。

(注3) 上限に関しては、**ボールの半分**が高さの上限に掛かっているものとする。(H19年度千葉県少年野球連盟指導)

#### ◇〈2・7・2〉

- ・打者が打たなかった投球のうち、ボールの一部分がゾーンのどの部分でもインフライトの状態を通過したもの。

## ◇ 4人制審判の取り決め事項

### 1. ポジショニング

- (1) 2塁塁審 : **走者無し、走者3塁**の時 2塁塁審は、**2塁ベース後方(「外」)**に位置する。  
 : 走者1塁、2塁、1・2塁、1・3塁、2・3塁、満塁の時は、**1・2塁間、または2・3塁間の内野(「中」)**に位置する。(内野手が前進守備の場合は、「外」に位置する。)  
 : **走者2・3塁**の場合は、「外(1,2塁線上)」に位置する。(H19年度 県連盟指導)
- (2) 1塁塁審、3塁塁審はいずれの場合もファールラインの外側に立つが、3塁に走者がいる場合、3塁塁審はラインを跨ぐ(打者のスイング確認のため)。

### 2. 外野への打球の責任範囲(塁審)

#### A. 2塁塁審が「外」に位置した時。

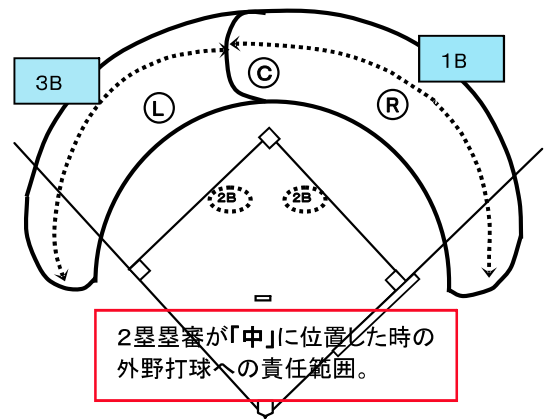
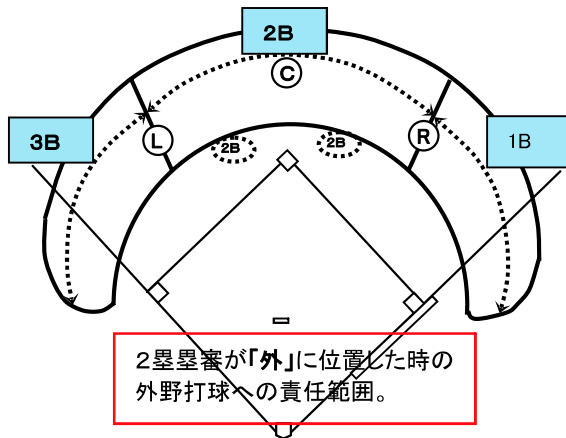
- (1) 左翼手より向かって左側の打球 ————— 3塁塁審  
 (2) 左翼手正面の前後から右翼手正面の前後までの打球 — 2塁塁審  
 (3) 右翼手から向かって右側の打球 ————— 1塁塁審

#### B. 2塁塁審が「中」に位置した場合・・・2塁塁審は外野への打球は追わない。(責任は持たない。)

- (1) 中堅手より向かって左側の打球 ———— 3塁塁審  
 (2) 中堅手付近から右側の打球 ————— 1塁塁審

#### C. 外野への打球を追った塁審は打球を確認した後、その場に留まり(ステイアウト)、担当していた塁は他の審判に任せる。

カバーに行った審判は、その審判(追った塁審)が戻るまでその塁を離れてはいけない(引継ぎをする)。



### 3. 「球審」の動き

- (1) **走者無し、走者1塁**の場合は**3塁をカバー**する動き方がある。  
 (2) **走者が2塁または3塁(スコアリングポジション)にいる時**は、原則として本塁にとどまる(ステイ)。

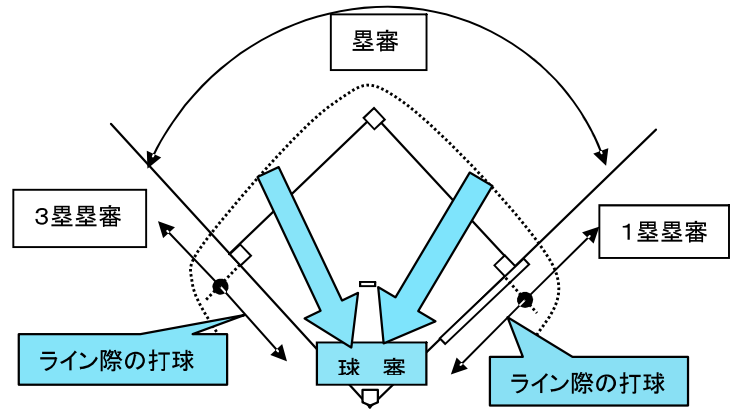
## ◇ 審判上の基本的な取決め事項

- 球審のジャッジ責任範囲
  - 内野内への打球
  - 1, 3塁ベースまでのライン際への打球
  - 1, 3塁ベース及び内野手に触れた打球
  - 内野フライ、内野ライナー。
- 1塁塁審のジャッジ責任範囲
  - 1塁ベースを含む以遠のライン際の打球。
  - 外野方向のファール飛球。
- 3塁塁審のジャッジ責任範囲
  - 3塁ベースを含む以遠のライン際の打球。
  - 外野方向のファール飛球。
- 注)・ファールフライは捕球した野手に近い審判員が宣告する。…然し、捕球の確保、或いは際どい落球等を確認できる位置に動いてジャッジすること。

基本(取決め)…異なる2つのジャッジをしないため。

外野へのトラブルボールは追って確認する。(塁審の責任)

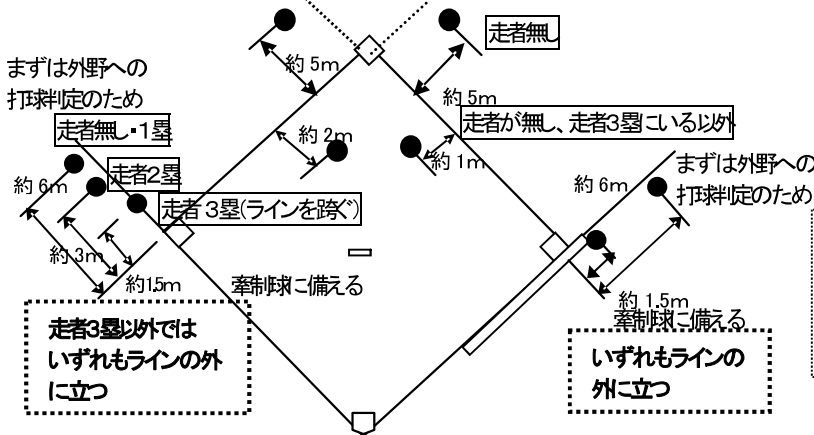
- 右翼線または左翼線寄りの打球
- 外野手が前進して地面すれすれで捕る打球
- 外野手が背走するフェンス際の打球
- 外野手が集まる打球



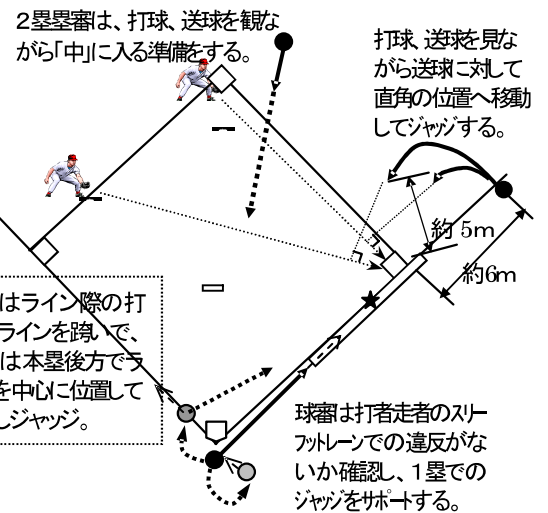
## ◇ 塁審の立つ位置

凡例 ● 審判員 ★ 走者

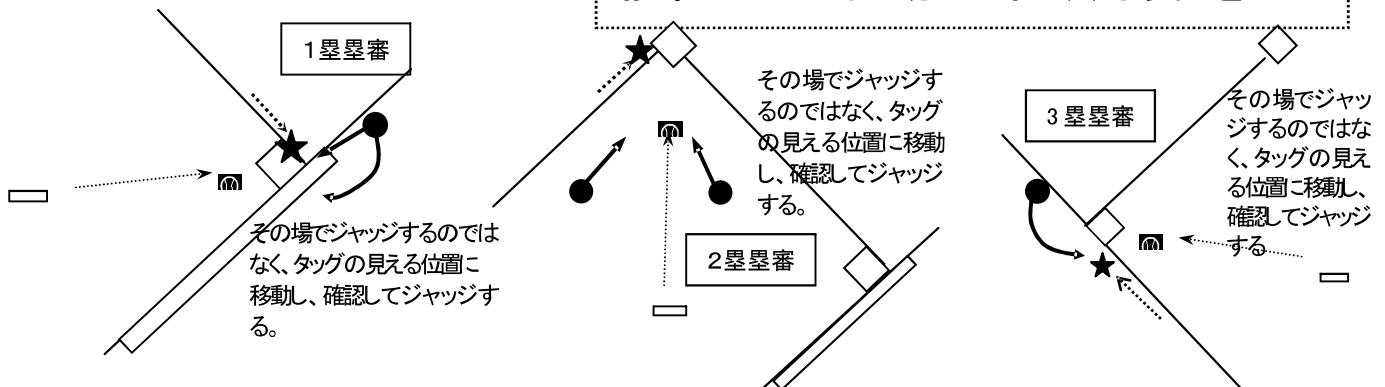
2塁塁審: **走者無し、走者3塁の場合は「外」**(いずれの位置でも良い)  
 : **上記以外では、「中」とするが、走者満塁、1・3塁、2・3塁で内野手が前進守備の場合は「外:1・2塁線後方」**に位置しても良い。  
**注意! 「中」では本塁に正対して、決してしゃがみこまないこと!**



### 【走者なし、内野への打球】



## 信頼される行動(位置、角度)を!



# 【審判メカニクス第2版】

(4人制審判)

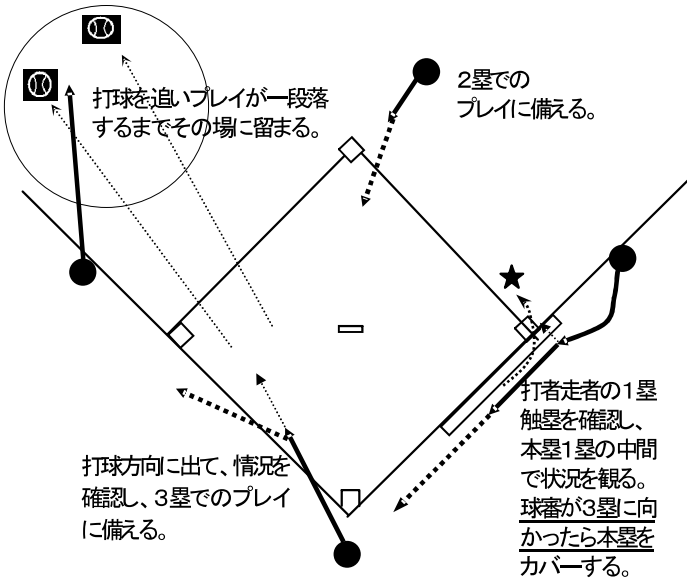
## クロックワイズメカニクス

平成20年3月  
東総地区少年野球連盟編集  
柏市少年野球連盟審判講習資料参照

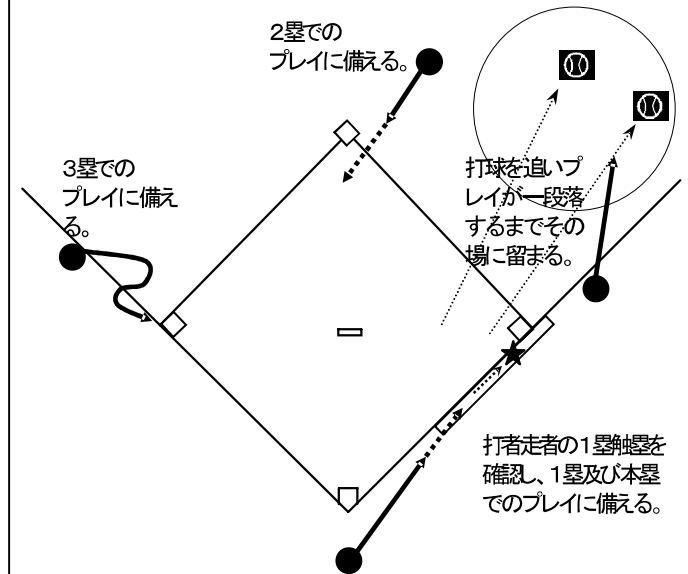
### 【4人制クロックワイズメカニクス】

- ◇ ポイント・2塁塁審は「外」  
・走者無し、3塁の時  
・内野手の前進守備時には、「外」も良い。  
(1・3塁、2・3塁、満塁の時)  
・この場合、球審は本塁にステイとする。
- ◇ ポイント・2塁審が「中」に入る。  
・走者1塁、2塁、1・2塁、1・3塁、2・3塁の時
- ◇ スコアリングポジションに走者がいる場合は球審は本塁から動かない。  
走者3塁、3塁塁審が外野打球を追った場合で、球審は3塁走者のタグアップを確認し、本塁でのプレイに備える。フェアとなったら3塁でのプレイに備える。
- ◇ 塁審は外野へのトラブルボールを追ったら、プレイが到着するまでそこに留まっている。(ステイ)

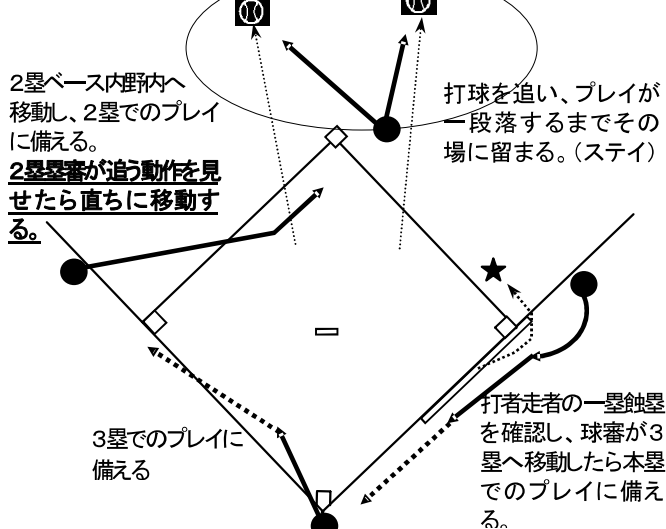
#### ①【走者無し】左翼手より左の打球を3塁塁審が追った場合



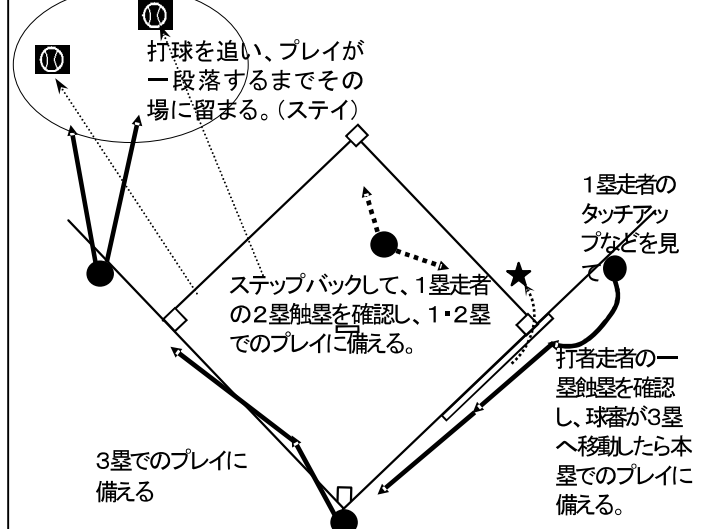
#### ②【走者無し】右翼手より右の打球を1塁塁審が追った場合



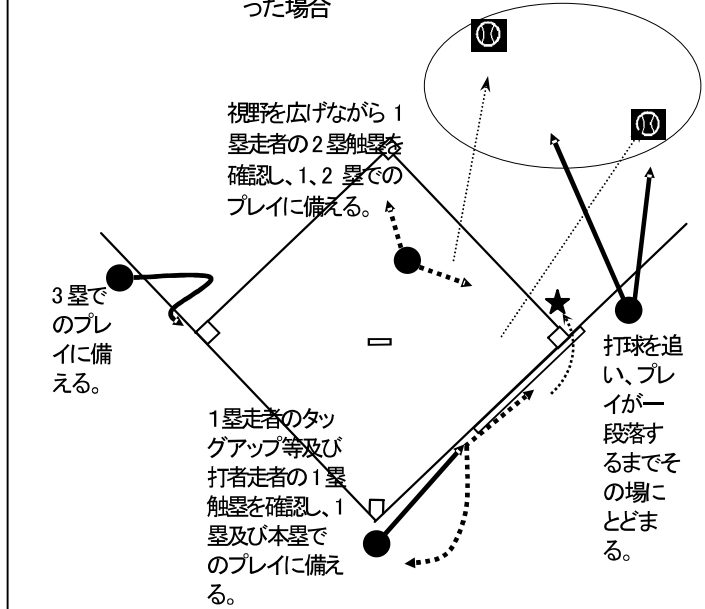
#### ③【走者なし】左翼手から右翼手までの打球を2塁塁審が追った場合(2塁でのプレイが生じると思われる場合)



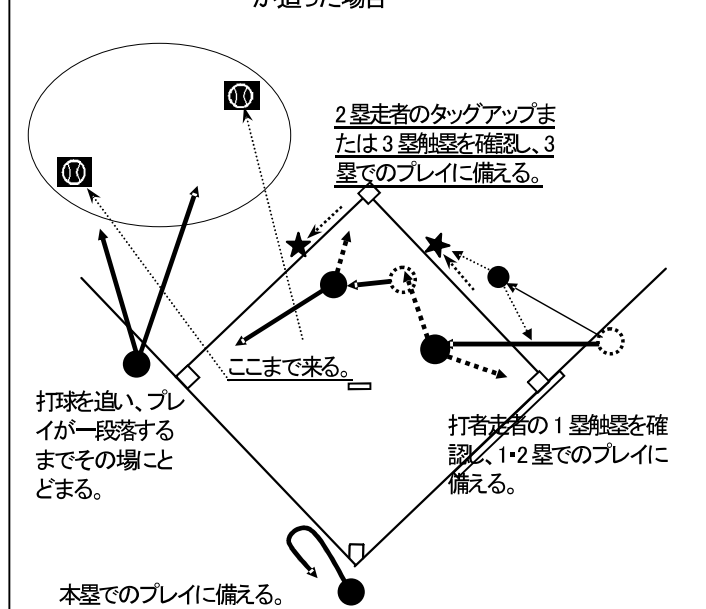
#### ④【走者1塁】中堅手より左側の打球を3塁塁審が追った場合。(球審が3塁に向かった場合。)



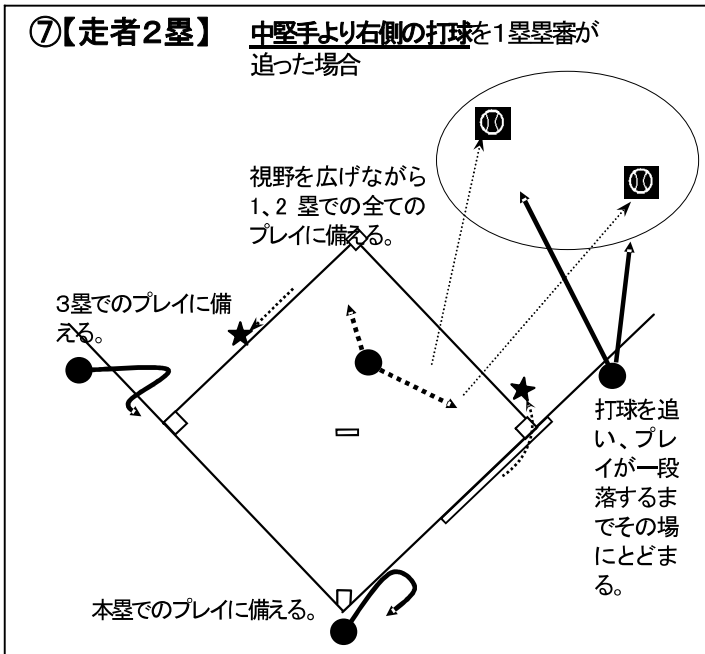
⑤【走者1塁】 中堅手より右側の打球を1塁塁審が追った場合



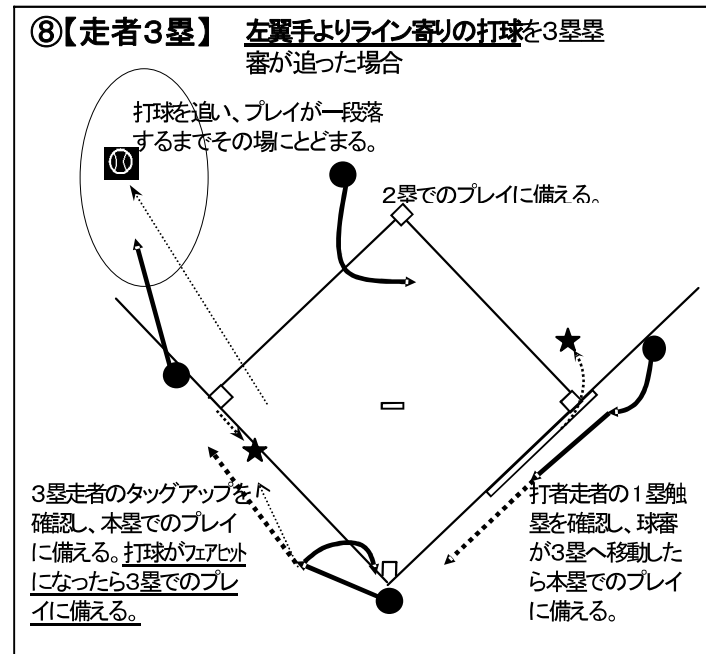
⑥【走者2塁】 中堅手より左側の打球を3塁塁審が追った場合



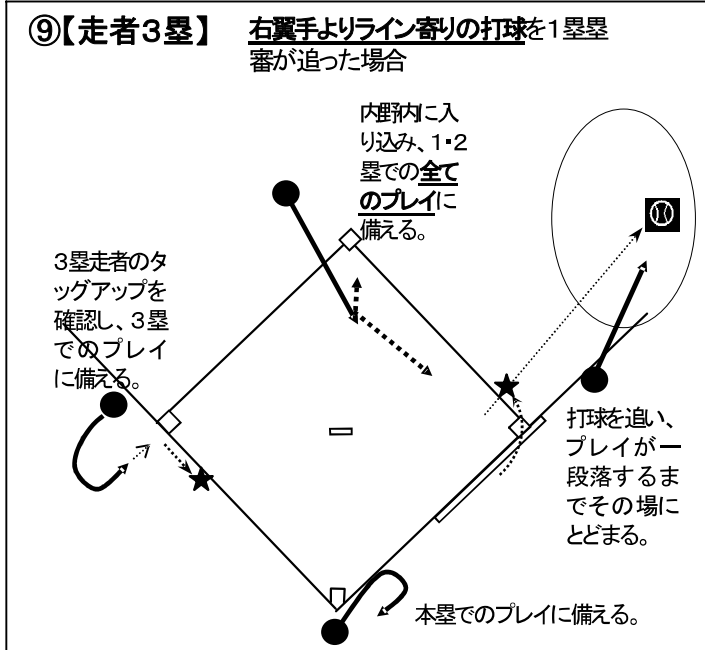
⑦【走者2塁】 中堅手より右側の打球を1塁塁審が追った場合



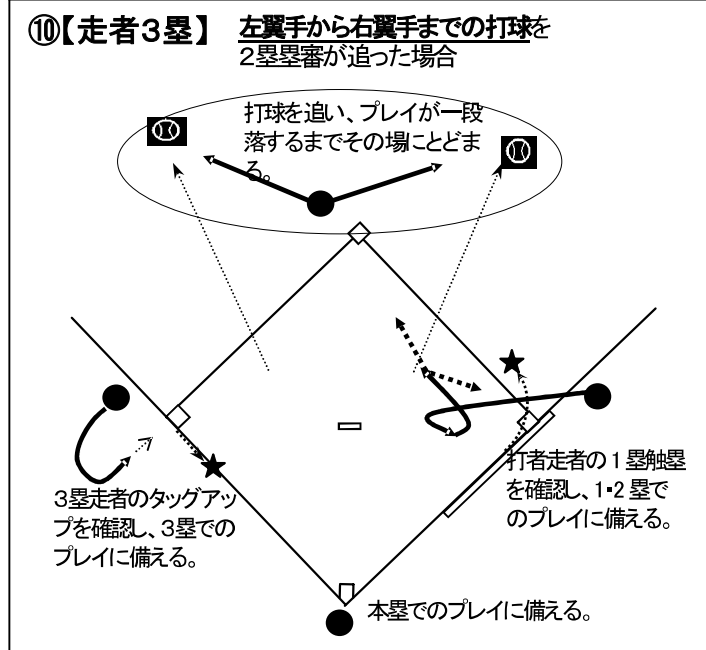
⑧【走者3塁】 左翼手よりライン寄りの打球を3塁塁審が追った場合



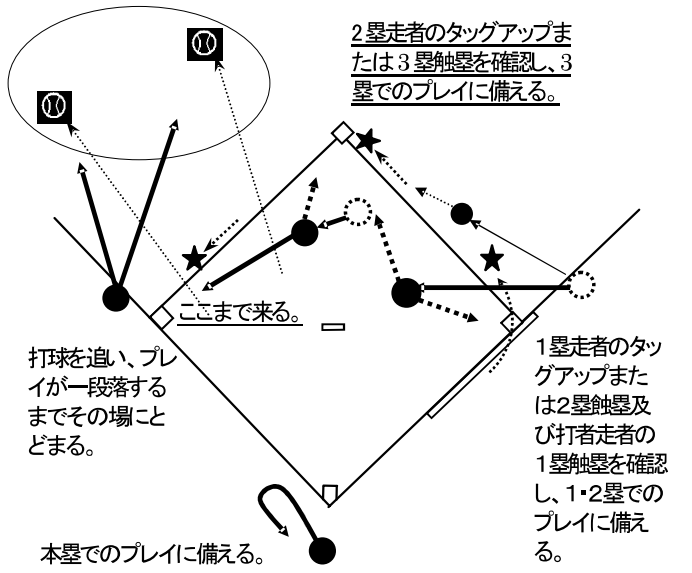
⑨【走者3塁】 右翼手よりライン寄りの打球を1塁塁審が追った場合



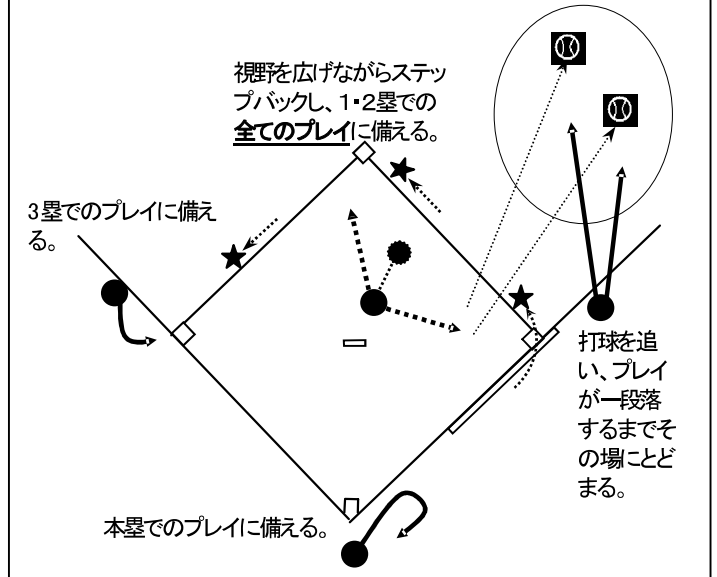
⑩【走者3塁】 左翼手から右翼手までの打球を2塁塁審が追った場合



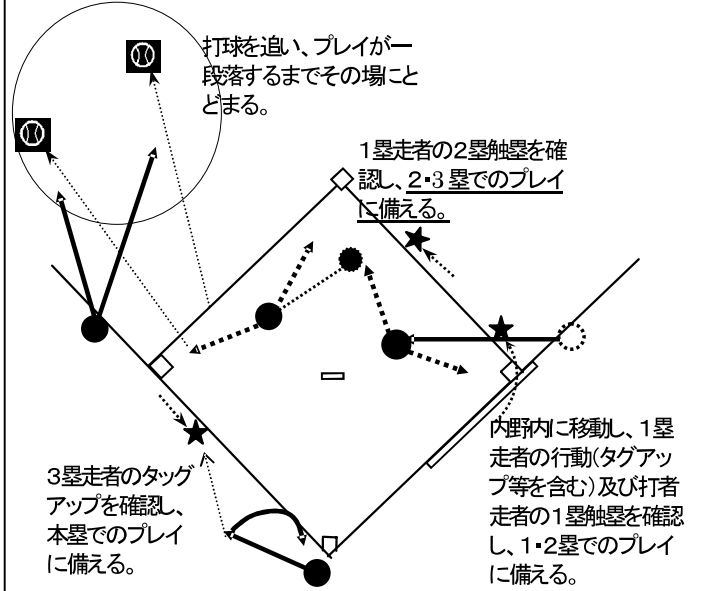
**⑪【走者1・2塁】 中堅手より左側の打球を3塁塁審が追った場合**



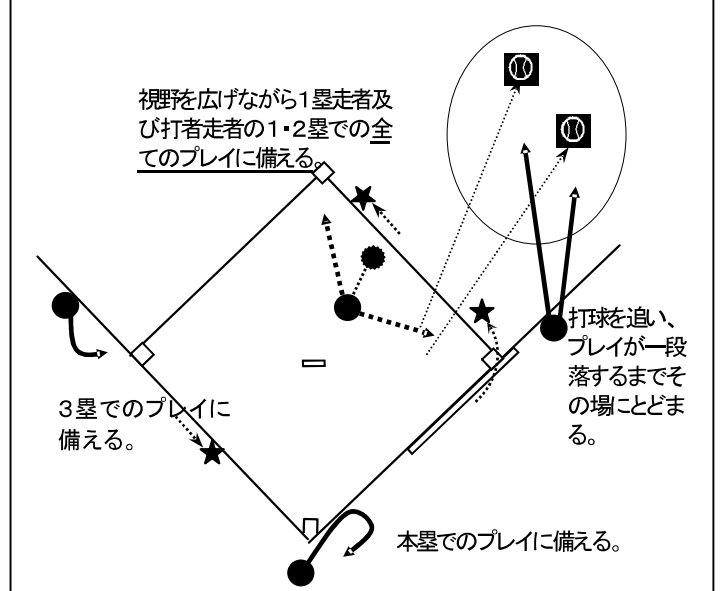
**⑫【走者1・2塁】 中堅手より右側の打球を1塁塁審が追った場合**



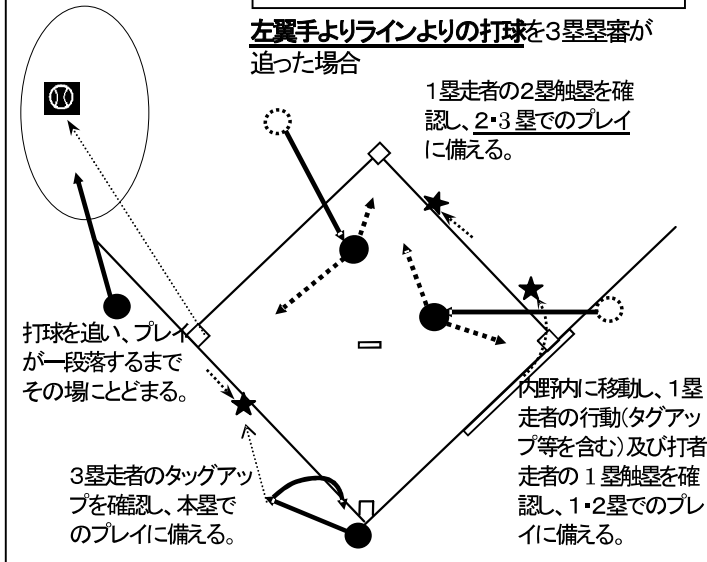
**⑬【走者1・3塁】 中堅手より左側の打球を3塁塁審が追った場合**



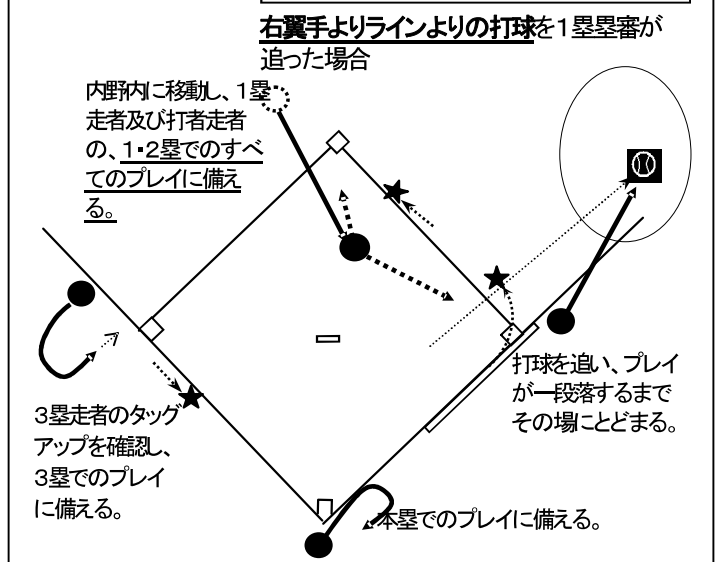
**⑭【走者1・3塁】 中堅手より右側の打球を1塁塁審が追った場合**



**⑮【走者1・3塁】 2塁塁審が外側に位置した場合および内野手が前進守備の場合 左翼手よりラインよりの打球を3塁塁審が追った場合**

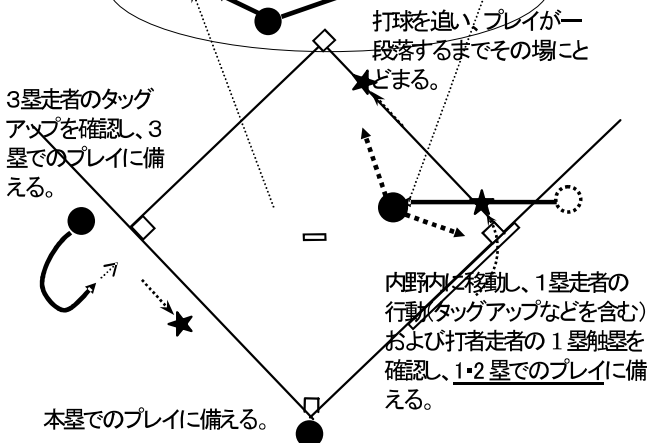


**⑯【走者1・3塁】 2塁塁審が外側に位置した場合および内野手が前進守備の場合 右翼手よりラインよりの打球を1塁塁審が追った場合**



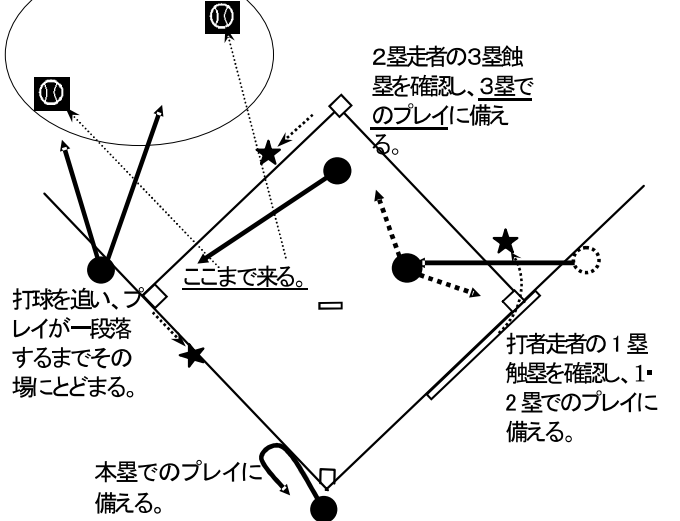
**⑪【走者1・3塁】 2塁塁審が外側に位置した場合および内野手が前進守備の場合**

左翼手から右翼手までの打球を2塁塁審が追った場合



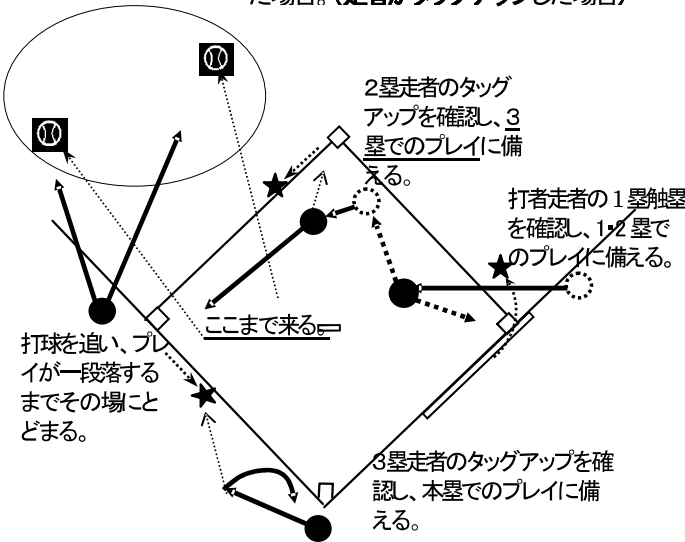
**⑩【走者2・3塁】 2塁塁審が内側に位置した場合**

中堅手より左側の打球を3塁塁審が追った場合



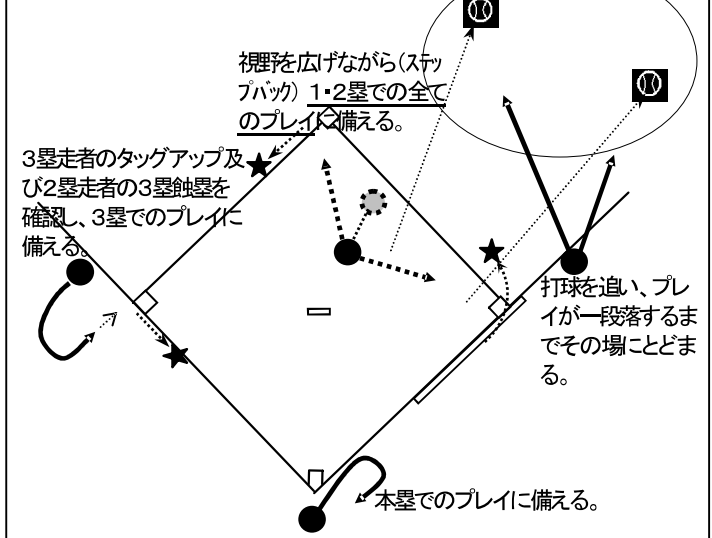
**⑲【走者2・3塁】 2塁塁審が内側に位置した場合**

中堅手より左側の打球を3塁塁審が追った場合。(走者がタッグアップした場合)



**⑳【走者2・3塁】 2塁塁審が内側に位置した場合**

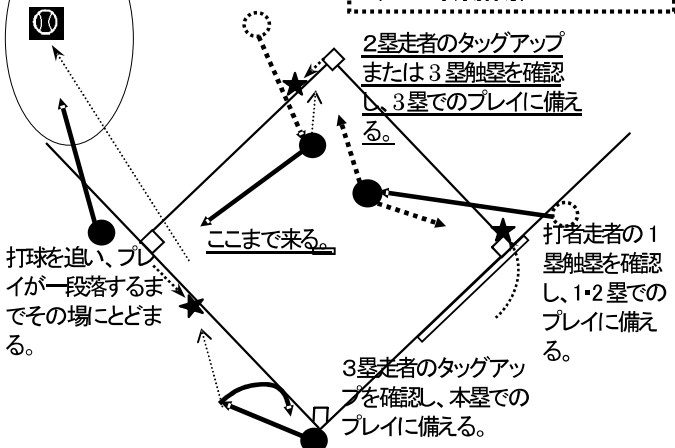
中堅手より右側の打球を1塁塁審が追った場合



**・【走者2・3塁】 2塁塁審が外側に位置した場合及び内野手が前進守備の場合**

左翼手よりライン寄りの打球を3塁塁審が追った場合

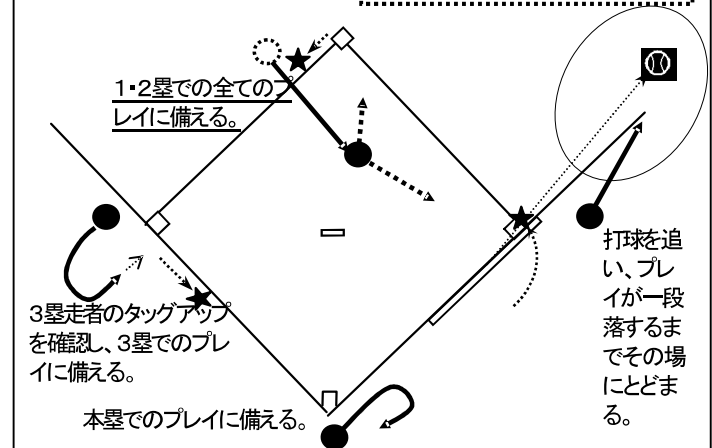
走者2・3塁の場合は常に2塁塁審は外側に位置する。(H19年県指導)



**・【走者2・3塁】 2塁塁審が外側に位置した場合及び内野手が前進守備の場合**

右翼手よりライン寄りの打球を1塁塁審が追った場合。

走者2・3塁の場合は常に2塁塁審は外側に位置する。(H19年県指導)

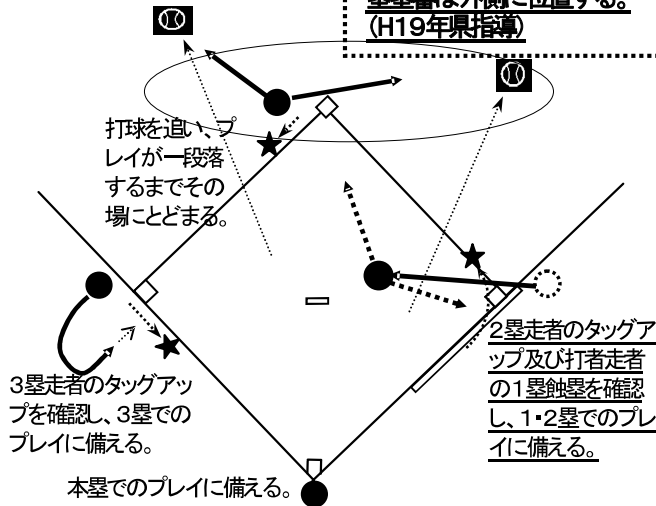




・【走者2・3塁】 2塁塁審が外側に位置した場合及び内野手が前進守備の場合

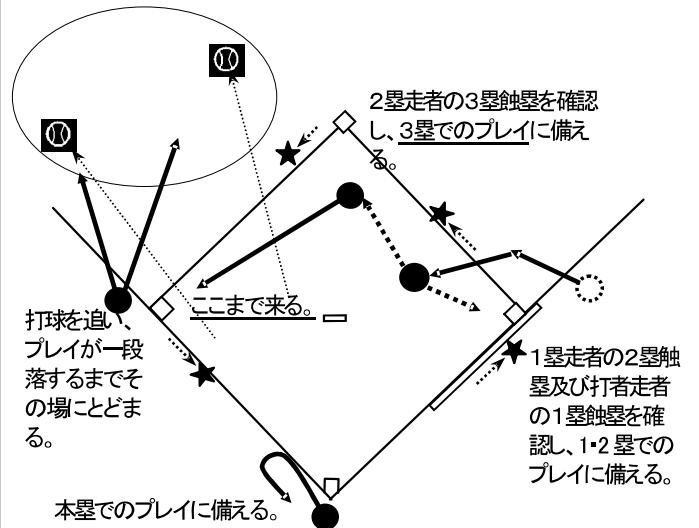
左翼手から右翼手までの打球を2塁塁審が追った場合。

走者2・3塁の場合は常に2塁塁審は外側に位置する。  
(H19年県指導)



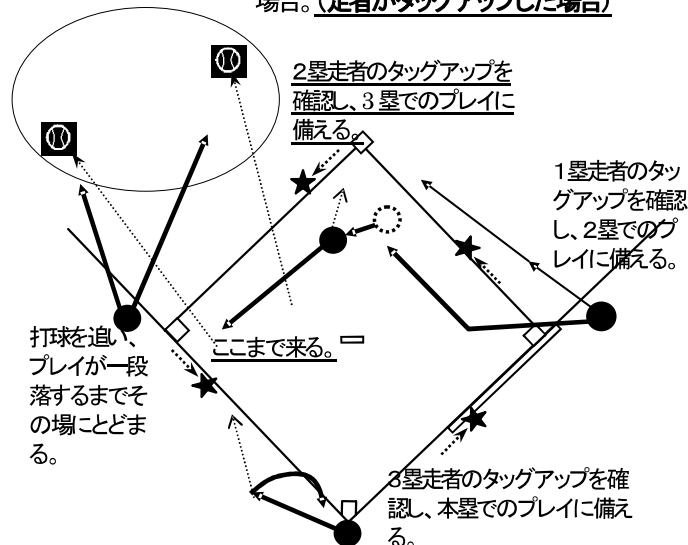
・【走者満塁】 2塁塁審が内側に位置した場合

中堅手より左側の打球を3塁塁審が追った場合。



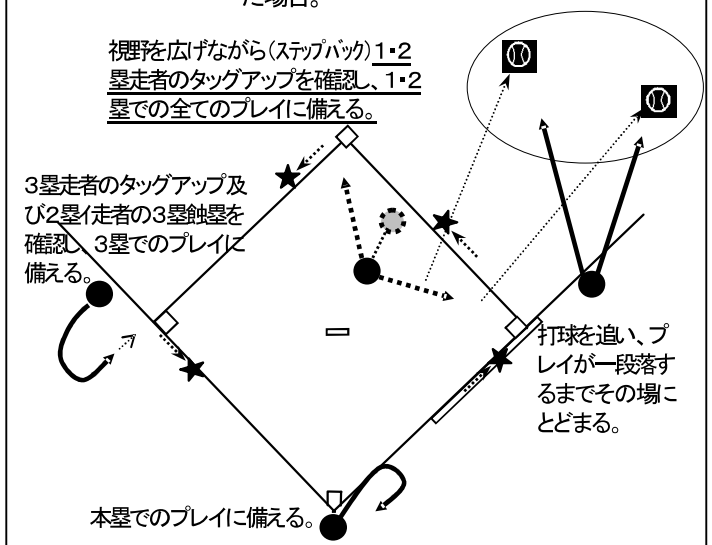
・【走者満塁】 2塁塁審が内側に位置した場合

中堅手より左側の打球を3塁塁審が追った場合。(走者がタッグアップした場合)



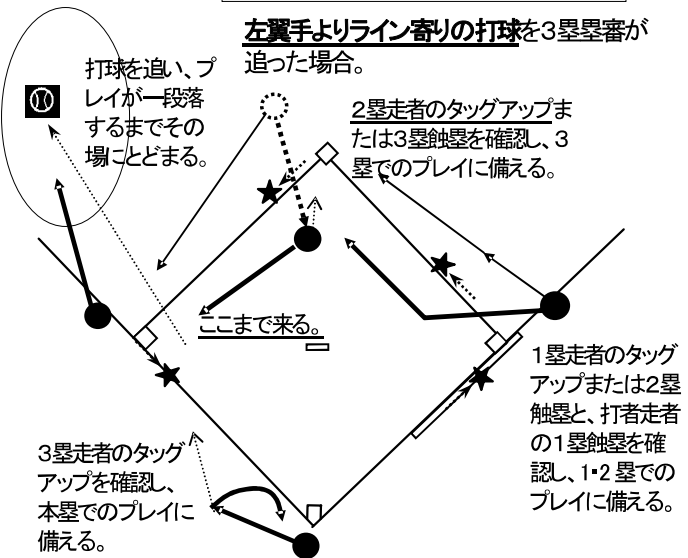
・【走者満塁】 2塁塁審が内側に位置した場合

中堅手より右側の打球を1塁塁審が追った場合。



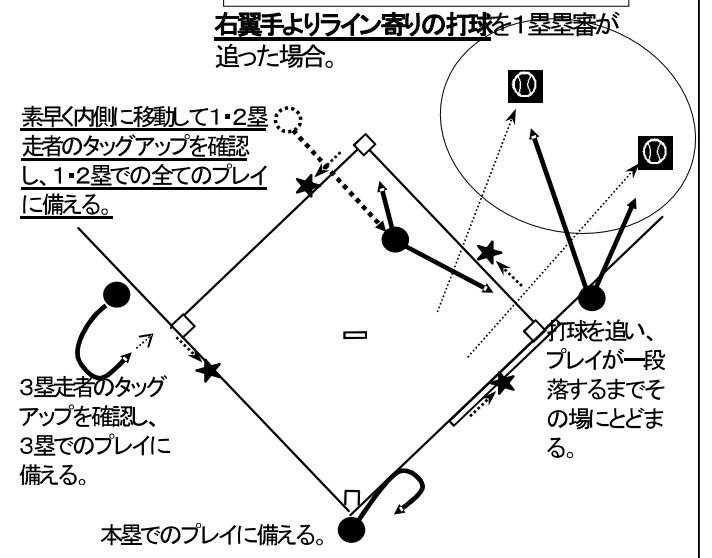
・【走者満塁】 2塁塁審が外側に位置した場合及び内野手が前進守備の場合。

左翼手よりライン寄りの打球を3塁塁審が追った場合。



・【走者満塁】 2塁塁審が外側に位置した場合及び内野手が前進守備の場合。

右翼手よりライン寄りの打球を1塁塁審が追った場合。



- ・【走者満塁】 左翼手から右翼手までの打球を2塁塁審が追った場合。

